

レのがな習
象ジ語的学
心一単文もる。
のメの構てえ
層イそのい考
深るつ中つと
とれか文にる
語さ、語作あ
単起し、言操で
る想習然合要
れて学自結必
さいをるるが
現お係れあど
表に關さでこ
つべ対使手す

5. 意味学的習システム
非言は、構成一般的に、
お念をにるこつるにか文、つは、シな
概されすは、よす現つか、つは、シな
達は、よす現つか、つは、シな
に力表く談力よ念しな
に示す例は、自然言語理解シ
以下に示す例は、自然言語理解シ
ス下に示す例は、自然言語理解シ
ミ下に示す例は、自然言語理解シ
テ下に示す例は、自然言語理解シ
ム下に示す例は、自然言語理解シ
ラ下に示す例は、自然言語理解シ
概下に示す例は、自然言語理解シ
エ下に示す例は、自然言語理解シ
な下に示す例は、自然言語理解シ
さ下に示す例は、自然言語理解シ
な下に示す例は、自然言語理解シ
帰下に示す例は、自然言語理解シ
"jealousy"の概念学習

6. 知識獲得の例
以下に示す例は、自然言語理解シ
ス下に示す例は、自然言語理解シ
ミ下に示す例は、自然言語理解シ
テ下に示す例は、自然言語理解シ
ム下に示す例は、自然言語理解シ
ラ下に示す例は、自然言語理解シ
概下に示す例は、自然言語理解シ
エ下に示す例は、自然言語理解シ
な下に示す例は、自然言語理解シ
さ下に示す例は、自然言語理解シ
な下に示す例は、自然言語理解シ
帰下に示す例は、自然言語理解シ
"jealousy"の概念学習

< 例 1 > "return" の概念学習

L1: Tom returns from Osaka to Tokyo.

[例文入力]

D1: Tom stays in Tokyo.
D2: Then, Tom goes to Osaka.
D3: Then, Tom goes to Tokyo.

[意味構造]

(φ, TOM, TOKYO, TOKYO, A12) .
(φ, TOM, TOKYO, OSAKA, A12) .
(φ, TOM, OSAKA, TOKYO, A12)

[一般化操作]

(φ, *x1*, *p1*, *p1*, A12) .
(φ, *x1*, *p1*, *p2*, A12) .
(φ, *x1*, *p2*, *p1*, A12)

•: 継時的連言

[結合操作部]

Dep.1 → *x1*

< 例 2 > "jealousy" の法則学習

D1: Tom loves the little girl.
D2: She loves Jim.

[意味構造]

(GIRL, TOM, *p*, v(0, 7, 0, 0, 0),
B05) ∩
(φ, GIRL, LITTLE, LITTLE, A41) ∩
(JIM, GIRL, *q*, v(0, 7, 0, 0, 0),
B05)

Q1: Does Tom feel Jealousy to Jim ?

A1: I don't know.

SQ: Do you want to learn with the discourses ?

A2: Yes.

[意味構造]

(JIM, TOM, *o*, v(-5, -7, 7, 0, 3),
B05)

[一般化操作]

((*x1*, *y1*, *p1*, v(0, 7, 0, 0, 0),
B05) ∩
(*z1*, *x1*, *p2*, v(0, 7, 0, 0, 0),
B05)
→ (*z1*, *y1*, *p3*, v(-5, -7, 7,
0, 3), B05))

7. むすび

我々には、
に示すも
に持よを
を識し、
知識非
限定し
の例等
単重こ
ここと
現達の
進め

は、
うを、
の態は、
の辞書
と語の
的置な
がられ
る本基
学知識
意表
言用
性

概念学
念2討
に検獲
得記述
を、
化を
よと
要

習のた
を、
目意
作討
も、
の、
が困
難現
は、
"stays",
"goes",
"return"
の対

ス識言
語的蓄
積構
施し
の、
対象
表現
は、
"stays",
"goes",
"return"
の対

テ伝語
的し積
構施
し、
格納
高野
分、
先
述非
常軌
跡的
表

ム達語
的し積
構施
し、
格納
高野
分、
先
述非
常軌
跡的
表

を手表
現した
れを
格納
高野
分、
先
述非
常軌
跡的
表

図段現
知た形
他、
の、
な
を、
先
述非
常軌
跡的
表

1をに
識知
成の
る、
な
を、
先
述非
常軌
跡的
表

参考文献

- (1) 吉武, 横田他: "自然言語理解システム IMAGES-III", 「知識情報処理」シンポジウム, S60年9月, pp.17-26
- (2) 仁木, 石崎: "概念の帰納的学習", 人工知能学会誌, Vol.3, No.6, Nov, pp.13-21, 1988